を目指して



私たちは、日々の生活や事業活動のために、豊かであった自然やそこに生育・生息する動植物を減少させ、限りある資源を消費してきました。その結果、地球温暖化やオゾン層の破壊、砂漠化と言った地球規模での環境問題を引き起こすこととなりました。

大切な自然環境と安心して暮らせる生活環境を次世代に引き継いでいくためには、私たち一人ひとりが環境に対する関心を深め、できることから行動していくことが必要となります。

印西市では、環境の保全に関する基本的な枠組みを定めた「印西市環境基本条例」に基づき、環境の保全・創出に関する取り組み等を掲げた「印西市環境基本計画」の策定し、市の事務・事業の中では、環境負荷を軽減するため「印西市庁内エコプラン」を推進しています。また、市民・事業者の皆様には環境配慮の指針となる「印西市環境行動指針」を通じて環境にやさしい行動を実践していただけるよう普及啓発をしています。

平成 18 年度に実施した市内から排出される温室効果ガスの実態調査では、1990 年度(基準年度)から 2004 年度の間に温室効果ガスが約 40%増加していることがわかり、さらに地球温暖化防止に向けた環境負荷の低減を図る必要がでてきているため、市の事務・事業、日常生活や事業活動における日々の省エネルギー行動等の環境にやさしい行動を積極的に実践していくことが大切です。

「印西市環境白書 2007(平成 19 年度版)」は、「印西市環境基本計画」に掲げた平成 18 年度における取組みの進捗状況、「印西市庁内エコプラン」による温室効果ガス排出量の削減状況、新たな環境問題の情報や対応状況など、印西市における環境の現状と環境保全に関する施策の概要を取りまとめ、広く市民の皆様に公表するものです。

市民・事業者の皆様方には、この環境白書を通じて環境問題への理解をさらに深めていただき、市の環境行政の推進に一層のご理解・ご協力をお願い致します。

最後に、この環境白書の作成にあたって、ご指導やご意見をいただいた「印西市環境審議会」、「印西市環境推進市民会議」、「印西市環境推進事業者会議」の委員の方々をはじめ、アンケート調査にご協力いただいた市民、事業者の皆様に心から感謝を申し上げます。

平成19年10月 印西市長 山崎 山洋

## 印西市環境白書 平成 19 年度版 目次

は	じ	めに	<u>.</u>	
	1	環	境白書作成の趣旨	- 1
	2	環	境基本計画の体系	- 2
	3		:内エコプランの取組み	
	4		境白書の構成	
	5	印	西市の環境の状況と今後に向けて	- 4
第	1 i	章	環境基本計画の評価	
	1 -	. 1	自然を身近に感じられる"まちづくり"(基本目標 )	- 5
	1 -	. 2	安心して生活できる"暮らしづくり"(基本目標 )	- 6
	1 -	. 3		
第	<b>2</b> i	音	個別目標の進捗状況	
		. 1	樹林地や農地を守り、育てる(個別目標 )	- 9
	2 -	. 2		
	2 -	. 3		
	2 -	4		- 17
	2 -	. 5		- 20
	2 -	. 6		
	2 -	. 7		
	2 -	. 8		
	2 -	. 9		
	2 -	10	エネルギーを有効に利用する(個別目標 )	- 34
	2 -	11		
	2 -	12	不法投棄やポイ捨てをなくす(個別目標 )	- 40
	2 -	13		
	2 -	14	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
	2 -	15	環境活動を進める(個別目標 )	- 48
第	3 i	章	重点プロジェクトの進捗状況	
	3 -	· 1	里山の保全・活用モデル事業の推進	- 51
			生物モニタリング調査の実施	
			町営塵芥焼却場跡地の環境調査の推進	
	3 -	4	生ごみ減量堆肥化の推進	
	3 -	. 5		
	3 -	. 6	印西市環境行動指針の作成	- 56
第	<b>4</b> i	章	庁内エコプランの進捗状況	
	4 -	. 1	温室効果ガスの排出状況	- 58
	4 -	- 2	温室効果ガスの総排出量の推移	- 59
	4 -	. 3	取組みの実施状況	- 60
資	料	編		
	1		境に関する統計データ資料	- 1
	2		境に関する市民・事業者意識調査 集計結果資料	
	3			
	4		境推進会議委員からの意見・提案資料	
	5		境審議会委員からの意見・提言資料	
	6		語解説	